

国立研究開発法人科学技術振興機構
科学コミュニケーションセンター

科学技術コミュニケーション推進事業「ネットワーク形成先進的科学館連携型」
平成 22 年度採択企画
最終ヒアリング結果報告書

1. 企画名 静岡のひと・もの・ことに生命を吹き込む科学技術文化の醸成事業

2. 提案機関 静岡科学館 指定管理者 公益財団法人静岡市文化振興財団

3. 企画の概要

静岡にある全国水準の優良企業や研究機関・大学の持つ場や特徴・地域の特性を活かし、静岡科学館が主導して諸セクターが互いにつながることでできる新しいネットワークを構築する。その上で様々なレベルの科学コミュニケーション活動に従事する人材を育成し、地域におけるリーダーシップをとりつつ継続的に科学コミュニケーション活動を展開する環境を整えて、市民の科学技術に対する理解増進を図る。

本事業では、活動を①ネットワークの構築、②科学コミュニケーターの育成と科学コミュニケーション活動の展開、そして③科学技術文化の醸成の 3 つに大別し、上記の目的を達成していく。

4. 最終ヒアリング結果総合所見

- ・計画を上回る実績を上げ、科学館を拠点とした地域ネットワークの定着・継続・発展が一層期待できる。

科学コミュニケーターのすそ野を広げ、各連携施設・団体における活動の場を創出したことは評価できる。今後、市民と協働・協創・協奏する地域に根付いた科学館として、双方向を重視した体験型の「科学茶房」や他地域への波及を目指した「しずおか科学技術月間」、さらに「サイエンスピクニック」を自治体等と連携したシンボリックイベントとして継続的に実施することを期待する。

以上